

2024年9月29日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会
第67巻第27号(通算3409号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

ちい ひと
小さくされている人を
たいせつ きょうかい
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅうじつれいはい
聖霊降臨節 第20主日礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう
前奏(黙祷)

ちよさくけんしやうめつ
AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば
招きの詞

しへん
詩編

へん せつ
65編 5節

さんびか
賛美歌

ばん ひかり こ
21-509番「光の子になるため」(©JASRAC)

せいしよ
聖書

しんと てがみ
コリントの信徒への手紙II

しやう せつ
5章 1-10節

いの
お祈り

さんびか
賛美歌

しんせいさんびか ばん よ ちから
『新生讚美歌』73番「善き力にわれかこまれ」(©JASRAC)

メッセージ

じんせい と じんせい と うしだただしぼくし
「人生を問うのではなく、人生から問われている」牛田匡牧師

さんびか
賛美歌

ばん ばん かみ わたし すく だ
21-452番「神は私を救い出された」(©JASRAC)

しゅいの
主の祈り

ばん てん ちち きやうだんさんびかかいていいんかい
62番「天にいますわたしたちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

たんじやうしゃしゆくふくしき
誕生者祝福式

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

ささげもの
献げ物(*)

はけん
派遣

ばん かみ めぐ う せつ
21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゆくふく
祝福

うしだ ただし ぼくし
牛田 匡 牧師

こうそう
後奏

ばん きやうだんさんびかいいんかい
アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこく
報告

ページ さんしやう
(4頁をご参照ください)

せき すわ れいはい さんか
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

うけつけ けんきんばこ
*受付に献金箱がごさいます。

ささげもの けんきん ようい かた ささ
「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

幸いな者

あなたに選ばれ

あなたに近づけられ

あなたの庭に住む人。

私たちはあなたの家

あなたの聖なる宮の恵みに満ち足ります。



聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 5 章 1-10 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹私たちの地上の住まいである幕屋まくやは壊れても、神から与えられる建物があることを、私たちは知っています。人の手で造られたものではない天にある永遠の住まいです。²私たちは、天から与えられる住みかを上に着たいと切に望みながら、この地上の幕屋まくやにあって呻うめいています。³それを ^a着たなら、はだか裸ではないこととなります。⁴この幕屋まくやに住む私たちは重荷を負って呻うめいています。それは、この幕屋を脱ぎたいからではなく、死ぬべきものが命に呑み込まれてしまうために、天からの住まいを上に着たいからです。⁵私たちをこのことに適う者としてくださったのは、神です。神は、その ^b保証として霊を与えてくださったのです。

⁶それで、私たちはいつも安心しています。もっとも、この体を住みかとしている間は、主から離れた身であることも知っています。⁷というのは、私たちは、直接見える姿によらず、信仰によって歩んでいるからです。⁸それで、私たちは安心していますが、願わくは、この体という住みかから離れて、主のもとに住みたいと思っています。⁹だから、体を住みかとしていようと、体を離れていようと、ひたすら主に喜ばれる者でありたい。¹⁰私たちは皆、キリストの裁きの座に出てすべてが明らかにされ、善であれ悪であれ、めいめい体を住みかとしていたときに行った仕業に応じて、報いを受けなければならないからです。

(脚注 a : 異本による。ギリシア語底本では「それを脱いでも」、

b 直訳 : 「手付金」)

《先週のメッセージより》2024年9月22日

「ヨルダンの向こう側」より

水谷憲牧師

聖書 ヨハネによる福音書 10章31-42節

現代はいつからか、大変ストレスがかかりやすい世の中になってしまっている。動物園の動物だって、ストレスで禿げ上がったたり仲間をいじめ殺したりするくらいですから、職場や学校や家庭の人間関係、また学歴・職歴・近所の評判など「現代の目に見えない檻」の中で暮らすことを強いられている私たちのある者が、それに耐え切れず心身共に病気になったり、爆発して様々な事件を起こしたりするのも、当然の帰結かも知れない。キリストはどうだったのか。神の子だから、ストレスとは無縁だったのか。話は違って、キリストの血液型はO型だった可能性が高いらしい。O型は全ての血液型に輸血できるが、輸血してもらえるのは同じO型のみ。与えるばかりで受けることがほとんどなかったキリストは、きっとO型なのだ(冗談)。しかし、神の子ではあるが、人として生まれた方である以上、いつも教えを与え、励ましを与え、慰めを与え、癒しを与え、気付きを与え、希望を与え…返ってくるものと言え、ほとんどは誤解による悪評や中傷、敵意、策略、暴力など。ストレスが溜まらんはずがない。

今回の箇所において、イエスは言う。「もし、わたしが父の業を行っていないのであれば、わたしを信じなくてもよい。しかし、行っているのであれば、わたしを信じなくても、その業を信じなさい」。いつも「ただ信じなさい」と言っていたイエスらしくない、消極的な言葉に聞こえ、何だかかわいそうに思えてくる。そしてイエスは、ユダヤ人たちの手を逃れて、いずこかへ去っていくのだ。イエスは一体どこへ向かったのか。それはヨルダン川の向こう側、ベタニアという町。それは、イエスの宣教活動の出発点。どんなにがんばっても全く人々に理解されず受け入れられなかったイエスは、しばらく活動を離れて自分の出発点に戻り、自分を受け入れてもらえる体験・話を聞いてもらえる体験・認めてもらえる体験・信じてもらえる体験によって、また自分の宣教の現場へと戻っていく力を与えられたのではないか。私たちも時には、心がざわつくところからいったん離れ、もう一度自分の最も基本・自分の出発点に引き返して、力を回復する機会を持つ必要がある。願わくは私たちの守るこの礼拝のひと時が、イエス・キリストにとっての「ヨルダンの向こう側」のような場になれば、と願う。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 9月22日

礼拝出席 大人4名 献金 大人 4,000円 中継視聴者数13回 感謝

◎次週 2024年10月6日(日)世界聖餐日 聖霊降臨節第21主日礼拝

招きの詞 詩編 73編 28節

聖書 フィリピの信徒への手紙 1章 12-30節

メッセージ 「キリストを生きる」水谷憲牧師

賛美歌 21-529番(©JASRAC)、21-196番(©JASRAC)、21-376番(©JASRAC)

10月期の「教会を考える会」は、翌週10月13日の礼拝後に予定されています。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、釜ヶ崎・いこい食堂にお届けしてお配りします。どなたでもご参加ください。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・10月5日(土)16時から6日(日)12時にかけて、関西セミナーハウス活動センターにて、開発教育セミナー第4回「市民(わたし)から始める～難民と一緒に暮らせる街をめざして～」が開催されます。講師は田中恵子さん(特定非営利活動法人RAFIQ 難民との共生ネットワーク代表理事)。参加費は12,000円(1泊夕朝食込、消費税、京都市宿泊税200円込)です。申し込み締め切りは本日まで、Webサイト、Fax、メール、電話等でお申込みください。電話 075-711-2117 FAX 075-701-5256 Eメール office@academy-kansai.org
- ・10月12日(土)13時半から16時にかけて、関西セミナーハウス活動センターにて、修学院フォーラム「福祉」第1回「夜回り活動を通して見えてくるもの」が開催されます。講師は桜井希さん(同志社中学・高校聖書科教員)。参加費は2,000円です。会場での対面参加の他、ZOOMを利用したのオンライン参加も可能です。申し込み締め切りは10月9日(水)です。Webサイト、Fax、メール、電話等でお申込みください。

<https://www.academy-kansai.org/index.php>



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
10/6	水谷憲牧師	(世界聖餐日)ユーカリスト
10/13	牛田匡牧師	教会を考える会
10/20	牛田匡牧師	収穫感謝礼拝・おにぎり支援
10/27	水谷憲牧師	誕生者祝福式

2024年度 修学院フォーラム「福祉」第1回
日本キリスト教アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

夜回りの活動を通して 見えてくるもの

会場と

Zoom

講師 桜井 希 (同志社中学校・高等学校聖書科教員)

「夜回り」は野宿している人を訪問して必要な支援をしてくれる活動の一つです。夜になるとたいていの方が自分の寝床に戻って就寝されます。そのタイミングに合わせて訪問するので「夜回り」と言っています。そこで出会う方々にはそれぞれの物語がありますが、物語を聞くにはそれなりの覚悟が必要です。例えば、身体の具合が悪いと聞けば「ではどうするか」が問われるからです。相手が話してくれたことに応えようとするときに、他人事が自分事になるのだと思います。自分事として問われた経験を分かち合い、共に生きるとはどういうことかを一緒に考えたいと思います。

日時 2024年 **10月12日**(土) 13:30~16:00

参加方法 関西セミナーハウス来場 または、リモート参加(Zoom)

参加費 来館/リモート共通 2,000円 学生 500円

申込フォームへ

◎講師は、会場で講演、話し合いに参加します。参加者は、次のいずれかの方法で参加できます。

【来館参加】関西セミナーハウスの会場に集まり、講演を聞き、話し合いに参加します。

【リモート参加】パソコンかスマートフォンなどを利用して、任意の場所からネットを通して参加することができます。申し込みの際にメールアドレスをお知らせください。締切後メールアドレスあてにZoomの招待状をお送りします。

桜井 希 さくらい のぞみ

同志社大学大学院神学専攻修士課程前期修了。日本基督教団天満教会担任教師を経て、現在、同志社中学校・高等学校聖書科教員。

著書：『新島襄への原』（共著・日本基督教団出版局 2006年）、『共に生きる』（日本基督教団出版局 2010年）、『イエスが渡すあなたへのバトン 関西労伝60年の歩み』（共著・かんよう出版 2017年）。

要申込み 10月9日(水)までに WEB フォーム、電子メール、電話、Fax 等により、裏面書式の内音でお申し込みください。